資料７

ＪＲあいの里教育大駅バス停での無料チケットの使用について

	現行ルール	検討案
無料チケット取得方法	・「医療大あいの里キャンパスの病院」を受診した際に、復路用として交付。	
無料チケット利用方法	・「医療大あいの里キャンパス」から乗車した場合のみ、降車時に無料チケットの使用が可能。	・左記のほか、「ＪＲあいの里教育大駅」から乗車した場合において、降車時に無料チケットの使用が可能。
メリット	・「ＪＲあいの里教育大駅」から乗車した場合、運賃収入となる。 ・コミバス運行開始時からのルールであり、運転手も含めて浸透している。	・町民のバス利便性及びサービスが向上する。
デメリット	・無料チケットを利用するには、買い物後に「医療大あいの里キャンパス」へ戻る必要がある。	・元々の趣旨ではない。 ・町外での購買等を助長してしまう恐れがある。 ・運賃収入の減。 ・「ＪＲあいの里教育大駅」を追加する明確な理由が必要（「金沢キャンパス」発行の無料チケットや「学生の無料チケット」「全バス停での利用」についても同じような要望が出る恐れあり）。

【参考（平成 29 年度）】

・患者用無料チケット使用枚数　3,548 枚（あいの里＋金沢キャンパス）
・学生用無料チケット使用枚数　24,417 枚（　〃　）
・医療大あいの里キャンパス無料降車人数　4,111 人（患者＋学生）
・北海道医療大学（金沢）無料降車人数　43,004 人（　〃　）
・医療大あいの里キャンパス乗車人数　5,009 人（平日のみ）
・ＪＲあいの里教育大駅（当別行）乗車人数　6,522 人（平日のみ）